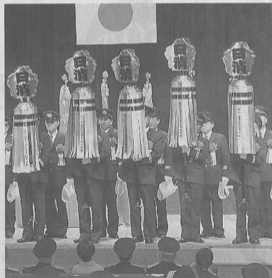


入間市消防団に 「特別表彰まとい」

優れた活動への最高の荣誉



「特別表彰まとい」を贈られた入間市消防団の代表ら

入間市消防団が、日本消防協会の「特別表彰まとい」を受賞した。全国の消防団のうち、特に優れた活動をしている10消防団に贈られる最高の荣誉で、県内では7団体目だ。

「特別表彰まとい」は過去に消防長官表彰や日本消防協会長表彰を受け、全国消防操法大会の出場経験があるなど実績のある消防団から選ばれる。

26日に日本消防会館（東京都港区）で表彰式があった。記念に高さ約2層の大きなまといが贈られ、団長の内村良一さんは「現役団員だけでなく、OBの活動も認められたことになる。東日本大震災などで消防団の活動がクローズアップさ

れた。表彰で団員のモチベーションにもつながる」と喜びを語った。

消防団は、全国的にサラリーマン世帯が増えて団員のなり手が減り、自治体の条例で定められている定数に対する充足率が下がっている消防団が多い。

入間市消防団は、7分団21部で構成され、団員は計299人。充足率は9割を超え、さらに平均年齢は約32歳と若く、6割ほどがサラリーマンというのも特徴だ。内村さんは「団員集めは難しい。レクリエーションを取り入れるなど工夫しています」と話す。

市消防本部によると、2011年に、火災で約60件、大雨などの風水害対策

で14件の出動。日ごろの活動のほか、東日本大震災直後には市内の被害情報を調査したほか、計画停電のときはパトロールを続けた。さらに団員有志がボランティアとして、被災地に出向き、がれきの処理などをしたという。

5月12日に市内の百貨店ホールで祝賀会があるほか、まといは市役所に展示される計画だ。（細羽雅彦）

入間市消防団に 「特別表彰まとい」

日本消防協会表彰式

全国で顕著な消防防災活動を行った団体、個人を表彰する第65回日本消防協会定例表彰式が、東京・虎ノ門の日本消防会館で行われ、特に優れた10団体に贈られる「特別表彰まとい」に入間市消防団(内村良二団長、団員数299人)が選ばれた。県内消防団としては2年ぶりの7度目、全10部門(団体・個人)中、最高榮譽に当たる。

古屋圭司防災担当相や岡崎浩巳消防庁長官らが出席した式典で、日本消防協会の秋本敏文会長が「今年は自治体消防65周年、(消防団の前身の)消防組がスタートして120年の節目。国民の願いである安心安全を確保

時代の火消しの象徴である特製の「まとい」が手渡された。

内村団長は「長年の活動が評



まといを背に「地道に活動を続けたい」と話す内村団長(左から2人目)ら入間市消防団関係者